

〔大上臈御名之事〕女房ことば

一さけ酒 くん

〔貞丈雜記七酒五〕一酒をさ、ともくこんとも云は、さは三々也、くこんは九獻也、酒は三々九度呑むを祝ひとする故也、九は陽數にてめでたき數ゆへ唐土にも九獻と云事あり、左傳に僖公十二年の條に云、楚子入享于鄭、九獻とあり、その註に云、用上公之禮、九獻酒禮畢云々、

〔御湯殿の上の日記〕慶長九年四月廿九日、あきの輝元もり毛利ゐなかく〇。こんとて、御たる十しん上申、大へんひろう、

〔塵袋九飲食〕サケヲ聖人ト云フ名アリト云フ如何、

スメル酒ノ徳ヲホメテ聖人ト云フニヤ、魏ノ太祖ノトキ天下ニ酒ヲトドメラレキ、ソノ時キ徐邈ト云フ臣下、愛酒ノモノニテ、ワタクシニシノビヤカニ酒ヲタクハヘテノミケリ、趙達ト云フモノ、公事ニヨテ徐邈ニトフベキ事アリケレバ、カノ家ヘニユキタルニ、ワタクシ酒ニノミ酔テ心モナラズナリニケルユヘニ、大事ノオホヤケ事ヲイフヲバ、返事モツヤノ、セデ、中聖人トバカリイヒケリ、内裏ニマイリテカクト申シケレバ、御門ハラタ、セ給テ、コハナニト云フ事ゾトオホセラレケルヲ、鮮于補ト云フモノ申ケルハ、昔シサケコノモノドモノ申ヲキ、侍シハ、酒ノスメルヲバ聖人ト云ヒ、ニゴレル酒ヲ賢人ト名、邈カヒトリエイノ心申サムトテ云ヘル事歟ト申シケリ、後文帝位ニツキ給テ、又サケニエイタル事アリケルニ、許昌ト云フモノカ、又中聖人歟ト曰ヒケレバ、トリアヘズ宿病以醜見傳、臣以醉見識トヘラズコタヘケレバ、帝大ニワラヒ給ヒケリ、ニゴレル賢人ト云フコトハ、聖人ヨリハ今少シ劣リタレドモ、ナヲコレモイミジキ心歟、

〔瑤囊抄六〕酒竹葉云事

酒ヲ竹葉ト云事如何、只是酒之異名也、百詠ノ注云、宣城ヨリ出竹酒ト云々、竹ノ葉ノ露タマリ